学校番号	１００１

令和３年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅰ Listening Essentials 1 システム英単語

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・親しみやすい題材を基にして、英語の「読む」「聞く」「書く」「話す」の４技能の力をつけていきましょう。その為には、自分の考えを持つことを心がけ、クラスメートの考えを聞く姿勢を身につけ、積極的に授業の活動に参加しましょう。

・英語と日本語の語順の違いに特に意識を置き、日本語をなるべく介さず英語を英語のままに理解することを心がけましょう。単語や熟語についても丸暗記するのではなく、文脈による意味の違いや使われる場面を意識して、学習していきましょう。

・音読活動を積極的に取り入れ、英語のリズムやイントネーションに気をつけ、グローバルな場面において、相手が理解できる発音を習得していきましょう。

2　学習の到達目標：(CAN-DO リストの該当学年の４技能の到達目標)

【第１学年】履修科目と主な教材（教科書以外で使用する教材一覧）：

「コミュニケーション英語Ⅰ」(3 単位) Listening Essentials 1（啓隆社)、システム英単語（駿台文庫）

「英語表現Ⅰ」(2 単位)　DUAL SCOPE 総合英語、DUALSCOPE English Expression Ⅰドリルブック（数研出版）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴に注意して話すことができる。 ・日常的な挨拶や、朝起きてから寝るまでの身近なことや経験したことについてやり取りができる。レストランや買い物の場面での基本的な会話ができる。また海外旅行の際の出入国の簡単な会話ができる。 ・絵や写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を用いて自分や他人の紹介をしたり、身近なことについて簡単に説明できる。	コミュ英語Ⅰ ・T or F Quiz in English ・Ｑ＆Ａ ・インタビューテスト ・音読、暗唱テスト ・Quiz in Class 英語表現Ⅰ ・定期考査 ・発音テスト ・リスニングテスト	・自分のことや家族・地域の紹介など簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語やイディオムを身につけ、基本的な文構造や表現を使いながら、and, but, because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章をかくことができる。	コミュ英語Ⅰ ・定期考査 ・トピック英作文 ・Quiz in Class ・ディスカッション案 英語表現Ⅰ ・定期考査 ・トピック英作 Quiz in Class Essay Writing	・はっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	コミュ英語Ⅰ ・リスニングテスト ・インタビューテスト ・Ｑ＆Ａ ・Quiz in Class ・定期考査 英語表現Ⅰ ・定期考査 ・リスニングテスト ・インタビューテスト	・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、辞も書適宜利用しながら事実関係を把握することができる。 ・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけだすことができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。 ・５０語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをともない音読することができる。	コミュ英語Ⅰ ・ 定期考査 ・ Ｑ ＆ Ａ in English ・長期休暇後の課題考査 ・速読 ・音読、暗唱テスト 英語表現Ⅰ ・定期考査 ・重要例文についての Quiz

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に実施できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (4 時間)	・High School Life at Home and Abroad 制服の有無、学校行事、教室の掃除などをトピックに留学生の視点も踏まえながら良い点、悪い点を考える。 ①現在形と過去形 ②現在進行形 ③未来を表す表現の意味や働き，形を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本と海外の高校生活の違いについて知っていることを発言しようとする	・ペアワークとグループワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・“Answer true or false”と“Let’s talk”で、ペアワークを行い、互いに協力をし合いながら、会話を続ける。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在形、過去形、現在進行形、未来を表す表現を用いて正しい文を書くことができる。	・Lesson 1 の内容についての英問に対して英語で答えを書くことや，知り得た情報を英語に直して書く。	・Lesson 1に出てきた語法・熟語を使って，指示にそった適切な英文を書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、英作文を出題することにより、単元の目標を達成できているか判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・「制服がある、ない」「学校行事が多い、少ない」「掃除を生徒がするまたは業者がする」の利点・欠点を理解する。	・Lesson 1 の内容についての英問や英文を聞いて，内容を正しく理解する。	・Lesson 1 に関連する英語を聞いて、理解することができる。また、正しく発声することができる。	・ディクテーションテスト及びリスニングテストの実施により単元の目標を達成できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在形、過去形、現在進行形、未来を表す表現の用法を理解している。	・国、地域、文化圏の違いにより、日常的な習慣が大きく異なっていることもある事実を理解している。	・各文の主語と動詞を理解し，内容を正確に把握して理解する。 ・強勢，リズム，イントネーション，区切りなどに注意して音読することができる。	・言語の使用場面、働きを意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (4 時間)	Giant Pandas: Everyone's Favorite パンダの「かわいい」とされる身体的特徴、およびパンダを取り巻く環境の悪化とそれに対する中国政府の取り組みを理解する。 ① SVC (C=名詞・代名詞・形容詞), SVO (O＝名詞・代名詞・動名詞・不定詞の用法) ② 動名詞 ③ 不定詞のそれぞれの意味や働き, 形を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・パンダや他の絶滅危惧種の動物について知っていることを発現しようとする。	・本文を読んだ後、ペアワークで自分の意見を伝えたり、相手の発表を聞く姿勢を育てる	・“Answer true or false”と“Let's talk”で、ペア・ワークを行い、互いに協力をし合いながら、会話を続ける。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ペアワークの成果をクラスで発表する。
		「外国語表現の能力」			
		・Lesson 2 の表現を他の表現で言い換えたり、紙面中の写真・イラスト等を英語で説明したりすることができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。	・Lesson 2 に出てきた語法・熟語を使って, Summary を適切な表現を使って書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・パンダの「かわいい」とされる特徴の合理的な理由や中国政府のパンダに対する方策を理解できる。	・Lesson 2 の内容についての英問や英文を聴いて, 内容を正しく理解する。	・Lesson 2に関連する英語を聞いて、理解することができる。また、正しく発声しリズムやイントネーションを意識できる。	・ディクテーションテスト及びリスニングテストの実施により単元の目標を達成できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVC、SVO の文型につき、C や O に入る品詞の種類を理解する。 ・動名詞、不定詞の基本的な用法について理解する	・世界における自然環境の変化と野生動物への影響について知識を増やす。	・SVC、SVO の文型と動名詞、不定詞の内容を正確に理解できる。 ・SVC、SVO の文型と動名詞、不定詞を用いて、正しい文を書くことができる。	・言語の使用場面、働きを意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 （4 時間）	Yanase Takashi: The Creator of Anpanman ・「アンパンマン」がどのように生まれ、どのような過程を経て人々に受け入れられるようになったのかについて読み、やなせさんの考える「真のヒーロー像」について考える。 ①受動態 ②SVO1O2 ④　SVOC ⑤　SVO （O=that 節、wh-節、疑問詞＋to～）について、それぞれの使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・アンパンマンややなせたかし、または自分の好きなマンガ等について、知っていること、思っていることを発言しようと努力する。	・各パートごとの内容に対する感想や意見をまとめ、ペアワークを通じて自分の考えを言ったり、相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペアワークやグループワークにおいて、互いに協力をし合いながら、会話を続ける。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・各パートの内容を簡潔にまとめた summary を話したり、書くことができる。	・各パートの内容を口頭で要約する。 ・事前に取ったメモに基づきながらペアで、読んだ内容について自分の考えを述べることが出来る。	・本文の内容を要約することができる。 ・読んだことに基づいて、自分の考えを話しすることが出来る。	・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・Lesson 3 に関する英語を聞いて理解し、正しく発音することができる。	・アンパンマンの「通常のヒーローとは異なる」特徴等について英語で理解できる。	・Lesson 3 に関連する英語を聞いて、理解することができる。また、正しく発声しリズムやイントネーションを意識できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・本文中で用いられている受動態、SVO1O2、SVOC、SVO の意味や用法を確認する。	・『アンパンマン』に込められたやなせの「真のヒーロー」についての思いを理解している。	・受動態、第4，5文型と that 節を理解し，内容を正確に把握して音読できる。 ・強勢，リズム，区切りなどに注意して音読することができる。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 （4 時間）	The History of the Telephone ・固定された電話から現在のような小型携帯電話が普及するまでの開発の歴史を知り、現在の携帯電話の飛躍的な機能の向上がデメリットにもなり得ることについて考える。 ①現在完了 ②関係代名詞 (who, which, that) ③分詞の形容詞的用法（現在分詞・過去分詞）の使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・携帯電話の変遷や携帯電話のメリット・デメリットについて、知っていること、思っていることを発言しようとする。	・各パートごとについて自分の考えや意見について発表するための英語をメモしておき、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペアワークやグループワークにおいて、互いに協力をし合いながら、会話を続ける	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・Lesson 4 の表現を他の表現で言い換えたり、紙面中の写真・イラスト等を英語で説明したりすることができる。	・携帯電話のメリットとデメリットを各自でまとめ、ディスカッション形式でグループで発表する。	・現在完了、関係代名詞、分詞の形容詞的用法を理解して英文を発することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・電話が日本で普及しつつあった1970年代に多くの若者が何に困っていたかについて理解できる。	・各パートごとに、関連した画像を参考に携帯電話の変遷を理解する。	・関連する英語を聞いて、理解することができる。また、発音することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了、関係代名詞、分詞の形容詞的用法を理解する。	・携帯電話のメリット・デメリット、もしくは自分と携帯電話の適切な関係について理解している。	・現在完了、関係代名詞、分詞の形容詞的用法を理解している。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 （4 時間）	Universal Designs: Why Is It Important For You? ・身の回りのデザインについて、多様な人々に対応するための工夫を考える。また、デザインを通して、よりよい社会について考える。 ① 形式主語（It is ～to do） ② 比較（原級、比較級、最上級）の使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・身近にあるユニバーサルデザインの製品設備について、知っていることを発言しようとする。	・パートごとに、本文の音声を聞き、ワークシートにメモを取らせる。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・Lesson 5 の各パートの内容を簡潔にまとめて話したり、書くことができる。	・身の回りのデザインについて、それを必要とする人々についてグループで発表し、情報を英語でシェアし合う。	ユニバーサルデザインについて学んだ表現を使ってサマリーを書いたり関連する英語を正確に読めたりするようになる。	・デザインを通して、より良い社会をグループで考えさせ、発表する様子を評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・ユニバーサルデザインとそうでない自動販売機等の異なる点とその理由について理解できる。	・ユニバーサルデザインの主旨を表すキーワードとその違いについて理解し、バリアフリーとの違いについて理解できる。	・Lesson 5 に関連する英語を聞いて、理解することができる。また、正しく発声することができる。	・授業内筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・形式主語や比較の使い方を理解し、その使い方を理解する。	・ユニバーサルデザインの主旨と出発点となる考え方について理解する。	・形式主語や比較の使い方を理解し、その使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握できている。	・授業内リスニングテストにおいて、背景知識をもとに、正しく聞き取れているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 （4 時間）	J.K. Rowling: Everyone Has Hidden Power ・J.K.ローリングがハリー・ポッターの小説を書き上げ、発行に漕ぎつけるまでの苦労を知り、またハリー・ポッターの物語に込めた思いについて考える。 ① would / used to ② 過去完了 ③SVO＋to 不定詞の使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・「ハリー・ポッター」シリーズや作者のローリングについて、知っていることを発言しようとする。	・本文を読んだ後に、ペアワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかり聞く努力をする。	・「ハリー・ポッター」シリーズや作者について調べたことや内容について積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・would, used to，過去完了、SVO＋ to 不定詞を用いて、正しい文を書くことができる。	・各パートごとの内容を簡潔にまとめて話したり、ワークシートに英語で書くことができる。	・本文中の表現を他の表現で言い換えることができる。また、写真やイラストを英語で説明できる。	・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・「ハリー・ポッター」の構想を完成させた経緯と状況を理解し、出版に向けた問題点の理由と解決策を理解する。	・各パートごとに、関連した画像などを見ながら、本文を理解し、イメージとともに、その内容を理解する。	・Lesson 6 に関連する英語を聞いて理解することができる。また、正しく発声することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・would ， used to, SVO＋to 不定詞の用法を理解する。	・ローリングが「ハリーポッター」に出てくる「魔法」を通して表現したかったことについて理解できる。	・would ， used to SVO＋to 不定詞の用法を理解している。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 （4 時間）	The Bicycle: An Old Friend and a New Friend ・身近な乗り物、自転車の利点を改めて認識するとともに、自転車の利用に関する問題点やその解決策について他国の例を見ながら考える。 ①分詞構文（現在分詞） ② SVOC（C=現在分詞） ③SVOC（C=原形不定詞）の使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自転車を利用するメリットや自転車に関する問題とその解決策について知っていることを発言しようとする。	・自転車の利点を確認し自転車の利用に関する問題点と解決策を、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・自転車の利点を確認し自転車の利用に関する問題点と解決策について、間違うことうを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・分詞構文（現在分詞） ② SVOC ③ SVOC を用いて正しい文を書くことができる。	・各パートのそれぞれの内容について、簡潔に話をすることができ、ワークシートに英語で書くことができる。	・本文中の表現を他の表現で言い換えたり、写真・イラスト等を英語で説明することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・自転車の利点と問題点を確認し、海外での解決策について理解することができる。	・各パートごとに、関連した写真やイラストなどを見ながら自転車への取り組みをイメージとともにその内容を理解する。	・Lesson 7 に関連する英語を聞いて理解することができる。また、正しい発音とリズムとイントネーションを意識して発声できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞構文、SVOC 文型（C=現在分詞または、原形不定詞）について理解する。	・自転車の利用の利点と問題点を学び、海外の解決策についてしっかり理解することができる。	・分詞構文、SVOC 文型（C=現在分詞または、原形不定詞）を理解している。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 （4 時間）	From a Child to Adult: When Do You Change? ・制度的な成人の権利とは別の「大人らしさ・成熟」とは何かについて考える。 ① 関係副詞(when, where) ② 形式主語（It is ～that） ③つなぎ表現について、その使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・未成年と成人の違い、大人らしい人と子どもっぽい人の違いについて、知っていることを発言しようとする。	・各パートごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力をし合いながら、会話を続ける	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係副詞(when, where）②形式主語（It is ～that） ③つなぎ表現を用いて、正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を要約する。 ・ペアで、メモに基づいて最新の科学について話し合う。 ・グループワークで自分の努力していることを発表する。	・各パートの内容を要約できる。 ・ペアで、メモに基づいて権利とは別の「大人らしさ、成熟さ」について話すことができる。 ・グループワークで自分の努力していることを発表できる。	・授業時間内を利用して、グループテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		・Lesson 8 の Summary を考えさせ、各パートの要旨を把握し、意見を発表することができる。	・法律的な「成人」になってできることや世界の国々の成人年齢について理解できる。	・関連する英語を聞いて、理解することができる。また、正しく発声することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・①関係副詞(when, where）②形式主語（It is ～that） ③つなぎ表現の用法を理解する。	・本文中で用いられている関係副詞、形式主語とつなぎ表現の意味や用法を確認する。	・①関係副詞(when, where）②形式主語（It is ～that） ③つなぎ表現の用法を理解している。	・言語の使用場面や働きを意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 （4 時間）	Food Miles: Where Does Our Food Come From? ・フードマイルズの考え方を知り、実際に自分たちの食事がどれほど輸入に頼っているかを認識する。また、地産地消のメリットを知るとともに、食品輸入を続けることの意味についても考える。 ・①助動詞を含む受動態 ② 関係副詞（how, why） ③仮定法過去についてそれぞれの使い方を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文を読んだ後に、ペアワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかり聞く態度を養う。	・フードマイルズについて、または日本の輸出入の現状について知っていることを発言しようとする。	・フードマイルズと日本の輸出入について訴えかけられているメッセージについて知ったことを、間違うことを恐れず、積極的に発言している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文中の表現を他の表現で言い換えたり、写真やイラスト等を英語で説明することができる。	・「フードマイルズ」の考え方と食品を輸入する際の問題点とその理由を英語で書き、発表できる。	・「フードマイルズ」の考え方と食品を輸入する際の問題点とその理由を適切に書き、発表することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本が食品の輸入を続ける理由について理解することができる。	・各パートごとに、関連した画像などを見ながら、「フードマイルズ」と食品を輸入する際の問題について、その内容を理解する。	・関連する英語を聞いて、理解することができる。また、正しく発声することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞を含む受動態、関係副詞（how, why）と仮定法過去を使った表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞を含む受動態、関係副詞（how, why）と仮定法過去を使った表現を理解している。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (4 時間)	Logical Thinking: A Skill for World-class Player ・世界レベルのスポーツ選手が必要とする論理思考の重要性を知り、論理的思考を得るための訓練法や心得について学ぶ。 ① 間接疑問文②関係代名詞 what ② one, another , other ③ 強調構文(It is ～that) を理解した上で本文の内容を正確に把握する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークを通じて海外で活躍するスポーツ選手と論理的思考について知っていることを発表しようとする。また、相手の発表を聞く態度を養う。	・海外で活躍するスポーツ選手の論理的思考について学び、論理的思考を得るための訓練法について学ぶ。	・海外で活躍するスポーツ選手、または論理的思考について知っていることについて間違うことを恐れず、積極的に話せる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内の取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・間接疑問文、関係代名詞 what と one, another , other と強調構文(It is ～that)を用いて正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめてワークシートに英語で summary を書くことができ、発表することができる。	・Lesson 10 で学んだ内容を別の表現で言い換えたり、写真やイラストを使って summary を説明することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容の取り組み状況の判断材料とし、発表の様子を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・世界的なスポーツ選手について日本と海外の選手の意識の点について違いを理解し、論理的思考に必要なポイントを理解する。	・世界的なスポーツ選手について日本と海外の選手の意識の点について違いを理解し、論理的思考に必要なポイントについて、読んで理解することができる。	・各パートごとに、関連した画像を見ながら、内容を理解し、正しく発声ができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・間接疑問文と関係代名詞 what と one, another , other と強調構文(It is ～that)について理解する。	・本文中で用いられている間接疑問文と関係代名詞 what と one, another , other と強調構文(It is ～that)意味や用法を確認する。	・間接疑問文、関係代名詞 what、one, another , other と強調構文(It is ～that)を使った表現を理解している。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。